

3M DI-NOC™ Architectural Finishes

D-Board Method with DAILITE

ダイライトDボード 工法提案



3M™ DI-NOC™ Architectural Finishes D-Board Method with DAILITE

ダイライトDボード工法

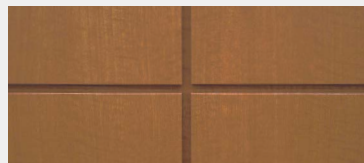
事前測量をせず、図面の割付に従って、協力会社の工場で3M™ ダイノック™ フィルムを四方巻きたダイライトの一部を、現場で加工しながら壁面に取り付ける工法です。
練り付け（突板化粧板）と同じ手順で施工できるので、大工やボード職人でも施工できます。

工法の特長

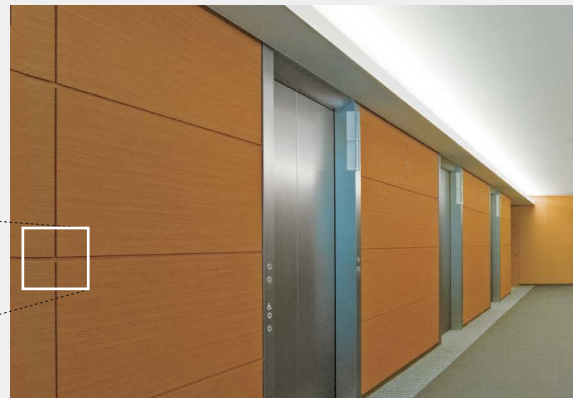
工場貼りすることにより、
均一で美しい仕上がりになります。

施工したパネルを貼るだけなので、
省廃材で工期を短縮できます。

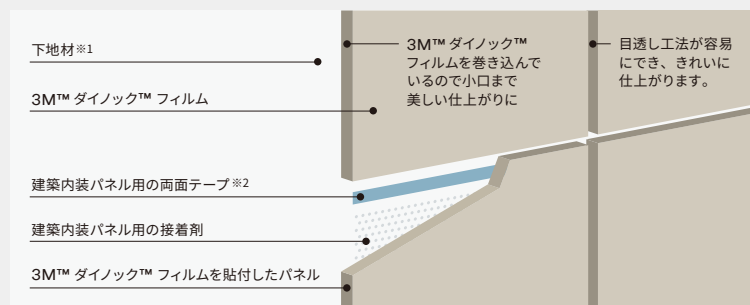
- ダイライトDボード工法は標準的な建築内装パネルを取り付ける方法（両面テープと接着剤を使用）で壁面に施工されます。
- スリーエム ジャパンは工法提案と施工会社の紹介をしています。詳細につきましては、当社販売担当者までお問い合わせください。



フィルムを直貼りするよりも、十字目地をシャープなエッジで再現できます。



断面図



※1 使用可能な下地材の例 石膏ボード（推奨12.5mm以上）

※2 使用可能なテープの例 3M™ ポリエチレンフォームテープ MIX-313

3M™ ダイノック™ フィルムを貼付したパネルを下地材に固定する際に
コニシ株式会社のボンドTM工法を採用する場合は下記をご参照ください。
<https://www.bond.co.jp/bond/catalog/pdf/download/1000230>

推奨基材

ダイライト 6FAL（比重約0.77）

対応サイズ^{（※3）}

最大幅 1,180mm まで
最長 3,010mm まで
厚み 6mm

※3 標準的なサイズです。詳細は施工会社にご確認ください。

ダイライトは手のこやカッターナイフでも加工できます。
丸のこでカットした際の粉塵も少ないので、
ケイ酸カルシウム板よりも現場加工に適しています。

現場貼りとの比較

工場貼りと現場貼りの
作業性比較動画はこちら



作業フロー

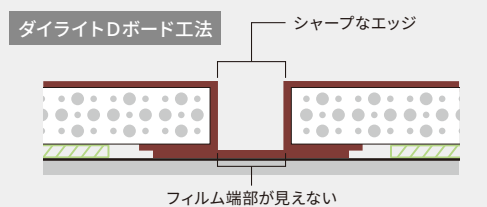
ダイライトDボード工法は現地貼りに比べて、現場での作業時間が大幅に短縮されます。



※現場で下地に基材（ケイ酸カルシウム板）を貼り、その上にフィルム貼りをする前提です。

3M™ ダイノック™ フィルム
基材
下地材
両面テープ

仕上がり（目地部分）



現場貼り



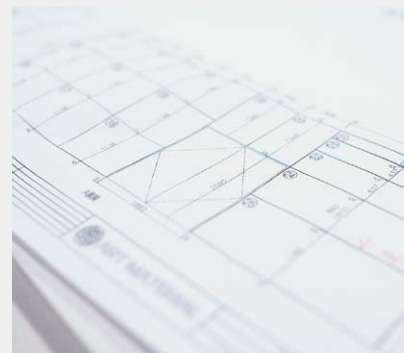
施工の流れ

ダイライトは練り付け（突板化粧板）で使用されているため、
ダイライトDボード工法も同じ手順で施工できます。

練り付け施工者による
施工動画はこちら



① 図面の割付通りに工場でDボード製作



② 現場で測量し、図面との違いを把握



③ 一部を加工してサイズ調整



④ カット面にタッチアップ塗装



⑤ 目地部分にフィルムを貼る



⑥ Dボードを取り付ける



納まり事例

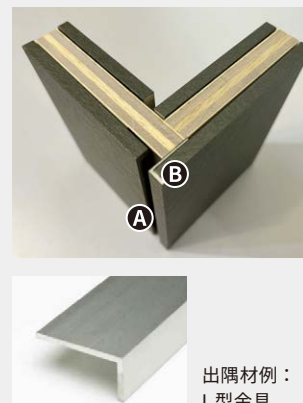
現場でサイズを調整する際は、出隅・入隅・天井などの
取り合い部分の納まりが特に重要です。

納まり図や経済的な割付などが
記載された資料はこちら



出隅

加工した小口が見えることや物が当たることを考慮した納まりに
する必要があります。



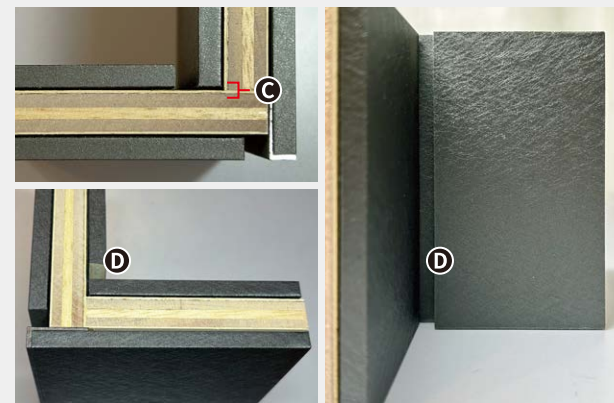
出隅材例：
L型金具

①目透かし部分は影になるため、カットした小口に近似色の塗装
をすることで、違和感のない仕上がりになります。

②出隅保護のためのL型金具を使用しています。Dボードと同柄の
3M™ ダイノック™ フィルムを貼っているため、金具が目立ちません。

入隅

凹部のため、難しい作業になるが、加工した小口は見えにくい。



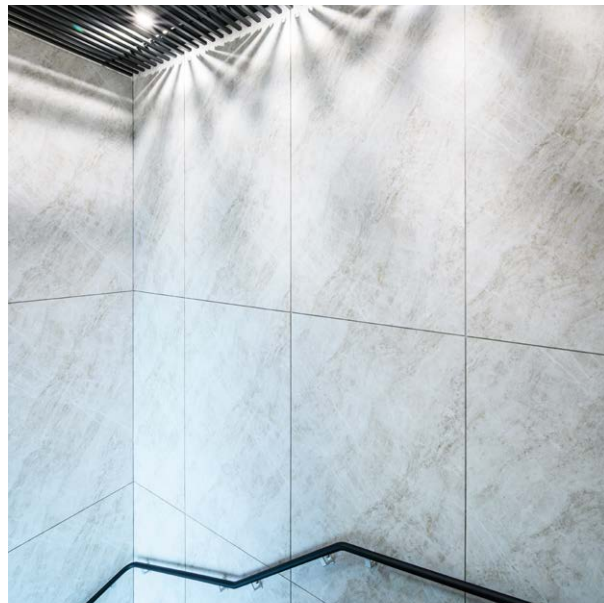
③0～3mmの隙間であれば、目立ちません。サイズ調整をする
際に、施工負担の軽減になります。

④カットした小口はほとんど見えないので、塗装はしていません。
カットしてもフィルムは自然に剥がれません。

ダイライトDボード工法で実現した 省力化と安定した施工品質

株式会社京匠は建築内装工事業を営んでいる。元々、工事現場にケイ酸カルシウム板と3M™ ダイノック™ フィルムを持ち込んで、Dボードを製作する方法で施工を行っていたが、ボード施工者とフィルム施工者の2人で分業しているため、どちらかが手持ち無沙汰になる時間が発生していた。また、Dボード製作には専用の作業スペースが必要であり、また気温が低い環境ではフィルム貼り作業ができないため、空間をヒーターで温める必要があるなどの問題点があった。

そこで、自社オフィスのリニューアルの際に、施工テストも兼ねて、ダイライトDボード工法を実践した。工場でDボード製作をするため、工事現場ではボード施工者のみで作業ができるため、効率よく作業ができた。また、入隅部分でボード端部をカットしてサイズ調整するが、丸のこできれいにカットでき、カット面はほとんど見えないため、カットされていることが分からない仕上がりになった。



品番：ST-2533MT



現場での作業時間を大幅短縮

「100㎡程度の施工の場合、現場でDボード製作をする方法は5日以上かかるが、ダイライトDボード工法は2～3日間できると思う。端部でカットしてズレを調整できるので、やり直しリスクが低いのも良い。」

株式会社 京匠
谷口 正史様（ボード施工者）

インタビュー動画はこちら



不燃認定番号：NM-5784(2)

対象下地：DAIKEN 株式会社製 ダイライト6FAL※

対象品番：次のシリーズ、品番を除くもの（2025年12月時点）

- シリーズ名：AR、DG、DR、EX、NEO（FLE全品番、末尾に-TILがつく全品番）、PS-MTRC
- 品番：DPF-100、LE-1551、LE-1552、WH-111

ダイライト6FALの不燃認定の詳細は当社Webサイト、もしくは右のQRコードよりご確認ください。



※ダイライト、DAILITEはDAIKEN株式会社の登録商標です。

ダイライト6FALのお問い合わせはDAIKEN株式会社にお問い合わせください。

お問い合わせ先：DAIKEN株式会社 マテリアル営業部 お問い合わせ窓口 material@daiken.co.jp

3M™ ダイノック™ フィルムの詳細やサンプル請求はWEBで

WEB
<http://go.3m.com/dinoc/>

- ご採用決定の際には、あらかじめ在庫状況をお問い合わせください。
- 当社製品の仕様及び外観は予告なく変更されることがありますので、ご了承ください。
- 本書に記載する事項、技術資料並びに推奨は、すべて当社が信頼する情報及び試験に基づいていますが、その正確性もしくは完全性についての絶対的な保証をするものではありません。
- 使用者は使用に先立って、自己の使用目的及び用途に当社製品が適合するかどうかを判断し、それに伴う危険と責任をすべて負うものとします。
- 当社及び当社製品の製造者の義務は、当社が別途定める条件に基づき、不良であることが証明された製品の交換、もしくは当該製品のご購入代金の返金だけであり、いかなる場合であってもそれ以外の責任を負いません。
- 上記内容と異なる保証並びに本書に記載されていない事項及び推奨は、当社及び当社製品の製造者の権限を有する役員が署名した文書によらない限り、当社は何らの責任も負いません。

3M、DI-NOC、ダイノックは、3M社の商標です。



3M Japan Limited
スリーエム ジャパン株式会社
go.3M.com/dinoc/

© 2026, 3M. All rights reserved.
DIN-210-A

カスタマーコンタクトセンター

製品のお問い合わせはナビダイヤルで

 **0570-012-123**

9:00-12:00、13:00-17:00 / 月～金
(土日祝年末年始は除く)